

学校番号	83	学校名	静岡県立浜松湖北高等学校 佐久間分校	校長名	新井淳一
------	----	-----	-----------------------	-----	------

1 スクールミッション

北遠地区(愛知県奥三河地区を含む)における生徒の多様な進路希望にこたえる全日制普通科高校として、丁寧で手厚い少人数教育と複数の学校や地域と連携した教育を通して、誠実で地域や社会の中でより良く生きる能力や態度を持った人材の育成を目指す。

2 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー(本校では卒業までにこのような力を身に付けます)
<p>校訓「誠実」の下</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「磨かれた人間性」 自主・自律の精神と思いやりの心を持ち、豊かな感性と創造性にあふれた人間性 ・「磨かれた知性」 自主的・積極的に真理を探究し、自ら思索・判断する知性 ・「磨かれた社会性」 学校や社会で自分の役割や責任を果たすとともに、地域や社会をよりよくしようと行動できる社会性
カリキュラム・ポリシー(本校ではこのような学びを行います)
<ul style="list-style-type: none"> ・少人数体制を生かした多様な学び ・個に応じた指導による基礎・基本の定着を図る学び ・様々な立場の人との多彩な交流や協力による学び ・地域と一体となり、地域の諸問題に取り組むための学び
アドミッション・ポリシー (本校ではこのような生徒を求めています)
<ul style="list-style-type: none"> ・思いやりを持ち、他者と協力し、誠実に行動できる生徒 ・高い学習意欲を持ち、自らの可能性に挑戦していく生徒 ・北遠・奥三河地域の中で学び、地域を創造する意欲を持った生徒 ・佐久間での自立した生活を通して自らを高めていく意欲を持った生徒

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 校訓の下、礼儀正しく気持ちの良い挨拶の励行と節度ある生活態度で、誠実な人間性を育む。
- イ 多様な個性を尊重し、個に応じた適切な指導により生徒の人間力を高める。
- ウ 各教科の授業や総合的な探究の時間で、観点別学習状況の評価を効果的に活用し、情報・知識を統合的に使って、物事を深く考え自らの意見や考えを他者に積極的に伝える力を育成する。
- エ 丁寧で手厚い少人数教育により、基礎・基本の定着を図り、主体的で対話的な学びを通してさらに高度な内容に対して理解を深め、高い学力を身に付けさせる。
- オ 多様な進路希望に対して、計画的で丁寧な指導を行い、生徒の進路実現を図る。
- カ 遠隔授業システム及びICTを活用した授業や家庭学習を推進するとともに、外部人材の積極的な活用を行い、中山間地域にあっても多様な学びを保障する魅力ある学校づくりを推進する。また、その魅力を発信し、この地域での学びに関心を持つ中学生・保護者を増やす。
- キ 地域と一体となり、地域の一員としての学校づくりを進める。
- ク 学校設定教科「地域」において、本校・地元大学及び地域との連携を図るなどして、地域や社会に貢献できる人材を育成する。
- ケ 中学からの学びや生活の連続性を見通した連携型中高一貫教育を推進し、地域の教育力を高める。
- コ 安全安心な学校づくりを啓成寮も含め行う。
- サ DXの推進等を通じて、教職員の業務を軽減することで、心身をリフレッシュする時間を確保する。

3 令和6年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	節度ある生活態度の実践を図り、行事や部活動の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な指導を通して節度ある学校生活と学校生活への積極的な取り組みを促すとともに、問題行動の未然防止に努める。 ・生徒会への指導を通して充実した行事を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶や場面に応じた言葉遣いをしていると答える生徒 85% ・行事や部活動に積極的に取り組んだと答える生徒 85% ・節度をもって、誠実に生活していると答える生徒 85% 	生徒保健 学年
イ	個に応じた指導の在り方を確立する。 悩みや問題を抱えた生徒、いじめ等への早期対応を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・各学期の面談、カウンセラー面談、いじめ等に関するアンケートなどを通して生徒の変化を把握するとともに、職員間で情報交換を密に行い、連携して対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活で困ったり悩んだりした時に教員が親身になってくれると答える生徒 80% ・生徒の抱える悩みに応えられる適切な指導が行われていると答える保護者 80% 	生徒保健 学年
ウ	授業や総合的な探究の時間で生徒の発信力を高める活動をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業や総合的な探究の時間内での発表の機会をつくり実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の発表活動や探究の発表会をとおして、自分の考えを伝える力が高まったと答える生徒 85% 	教科 総探の時間委員会
エ	授業に真剣に主体的に取り組む態度を育成するとともに、「分かる・学力が付く授業」を実践する。	<ul style="list-style-type: none"> ・研究授業、公開授業、学びの基礎診断、生徒による授業評価を通して授業改善を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に主体的に取り組むことができたと答える生徒 85% ・「授業が分かる」と答える生徒 95% ・「学力が付いた」と答える生徒 95% 	教務 教科
	丁寧で手厚い教育の成果がより反映される体制を構築する。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の多様性に応じた教育に関する教員研修を計画的に実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の多様性に応じた教育に関する知識・理解が高まったと答える教員 70% 	教務 (研修担当) 教科
	学びを深めることができる読書環境を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科・分掌等と連携し、主体的学び、情報収集に必要な図書を選定を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館は、学びを深めることができるように整備されていると答える生徒 60% 	総務図書
オ	高い志の育成に努め、生徒の進路希望の実現を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な進路希望に対応できる進路指導の充実を図る。 ・校内 web サイトに必要な情報を掲載する。 ・放課後及び休業中の進学補講を計画的に実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路対策に満足していると答える生徒 80% ・進路について校内 web サイトが役立ったと回答した生徒 80% ・就職内定率 100% 	進路

様式第1号

カ	ICT等を活用した授業や会議等を行うことにより、教育の質を維持する。	<ul style="list-style-type: none"> ・1人1台端末やGoogleクラスルーム等を授業や課題提示に活用する。 ・遠隔システムを利用した授業及びテレビ会議や生徒交流などを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員は授業の教材や教え方に様々な工夫をしていると答える生徒90% 	教務 (情報担当)
	外部人材の活用を充実させる	<ul style="list-style-type: none"> ・通常の授業では学べない分野について外部講師による授業を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部講師の授業により、多様な学びができ、理解が深まったと答える生徒80% 	教務
	広報の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞等校外メディアへの情報提供を行う。 ・学校ホームページ・インスタグラム・「佐高だより」の地域回覧、一日体験入学等を活用し、学校の情報・魅力を発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞等校外メディア掲載15回 ・一日体験入学に参加して学校の理解が深まったと答える中学生80% 	管理職 総務図書 教務
キ	地域等との関わりを深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事やボランティア活動への積極的参加を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事やボランティア活動に関わった生徒80% 	管理職 生徒保健
ク	学校設定教科「地域」の充実を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・本校・地元大学・地域等、多様な人々・機関等との交流や連携の機会を計画的に創出する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域」の授業をとおして、様々な視点から地域の課題を考察することができたと答える生徒80% 	「地域」 担当 委員会
ケ	中高の行事交流等を充実させ、中高の一体感を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校教員との意見・情報交換や合同研修等を通して、中高で課題を共有・整理しながら、交流授業・交流行事を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流行事がよかったと答える中高生90% ・交流行事がよかったと答える教員90% 	教務 生徒保健
コ	安全安心な学校環境の整備に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・学期1回の職員点検等、施設・設備を定期的に点検し、その情報を職員間で共有するとともに、必要な改修や改善を計画的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備の改修改善による安全安心の確保に努めていると答える保護者90% 	事務 生徒保健
サ	業務の効率化、見直しにより、業務負担の軽減を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の完全退庁時間や毎月の定時退勤日を設定するほか、DXを推進して、文書取扱事務や職員間の情報共有体制を見直す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間外勤務 年540時間以内8人以上 	全教職員 管理職